九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[051] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10221

出版情報：語文研究. 51, 1981-06-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▽昭和55年度卒業論文・修士論文題目

学部

プロレタリア文学運動と小林多喜二　城野真由美
平曲における曲節と内容の相関性について
——会話文における強ノ声を中心に——　安楽千恵美
狂言記の国語学的研究
——正篇・続篇・拾遺篇・外篇の比較——　石松貞
一方流平家物語諸本における待遇表現の研究
——その敬語と人物像——　新谷尚子
九州大学所蔵本平曲譜本の研究
——清濁を中心に——　中村萬里
長崎県南高来郡有明方言について　浜口初美
絵入狂言本の国語学的研究
——その言語資料としての性格の検討——　養父桂子
「好色一代男」の研究
——「待る」「候ふ」をめぐる一考察——　小川洋子
式亭三馬——前期戯作者的要素とその限界——　近藤早苗
松浦宮物語の作品の性格について　野々瀬桂子
源氏物語の研究　——藤壺・女三宮密通事件を形造る
人物相互の意識の関りについて——　原田恵子
「蟲めづる姫君」研究　松原裕子
「蜻蛉日記」に描かれた「諦観形成」
——私の読みの第一歩として——　宿久陽子

修士

二巻本宝物集の研究　田中潤子
歌舞伎脚本の国語学的研究　山県浩

▽国語学国文学公開講演会

於図書館視聴覚室　昭和55年12月20日（土）

雑談という名の歌論　大阪大学　島津忠夫教授
国語のわだち　——花が咲く——　山口大学　岩松空一教授

執筆者紹介

西丸妙子　福岡女子短期大学教授
高山倫明　九州大学大学院（修士課程）
望月正道　九州大学大学院（修士課程）
古賀典子　西南女学院短期大学講師
中山右尚　共立女子短期大学助教授

受贈雑誌（昭和五十五年四月～五十六年三月）

愛知淑徳大学国語国文4／愛知県立大学文学部論集・国文学科編29／愛文（愛媛大学）16／青山語文10／跡見学園短期大学紀要16・16（別冊）／宇部国文研究11／愛媛国文研究30／愛媛国文と教育11／愛媛大学法文学論集・文学科編13／演劇学21／大阪樟蔭女子大学論集17／大谷女子大国文10／大妻国文11／王朝文学史稿8／岡大国文論稿8／沖縄国際大学文学部紀要8巻2／会誌（日本女子大学大学院の会）2／外国文学研究28／香川大学国文研究5／学習院大学文学部研究年報26／学術研究・国語国文学編（早稲田大学教育学部）28／鹿児島大学文科報告16／花袋研究会々報5・6／活水日文3・4／金沢大学国語国文7／金沢大学法文学部論集・文学編27／金沢大学教養部論集・人文科学編17／金沢文庫研究26巻1～3／鎌倉時代語研究3／九州文化史研究所紀要25／近代文学論12／近代文学論叢（北海道教育大旭川分校）5／訓点語と訓点資料64・65／慶応義塾国文学研究会報25～28／研究紀要（大阪大学医療技術短大部）11／研究紀要（京都家政短大）19／研究紀要（日本大学人文科学研究所）23・24／研究集録（大阪大学教養部）28／言語と文学22／言語文化（一橋大学）16／皇学館論叢13巻1～6／高知女子大国文16／高知大国文10・11／甲南国文27／甲南大学紀要・文学編36／稿本近代文学3／高野山大学国語国文5・6／語学と文学（九州女子大・九州女子短大）10・11／語学文学18／国学院雑誌80巻12・81巻1～12・82巻1～3／国学院大学紀要18／国語学120～123／国語学・研究と資料5／国語研究（九州大谷短大）7・8／国語国文49巻2～12・50巻1／国語国文学会誌（学習院大学）23／国語国文学会誌（福岡教育大学）21／国語国文学研究（熊本大学）15／国語国文学誌（広島女学院大学）10／国語国文学報（愛知教育大学）37／国語国文研究（北海道大学）63／国語国文研究と教育（熊本大学）8・9／国語国文論集（学習院女子短大）9・10／国語国文論集（安田女子大学）9・10／国語と教育（長崎大学）1・5／国語と国文学57巻4～12・58巻1～4／国語の研究（大分大学）11／国際日本文学研究集会会議録（国文資料館）'79・'80／国文（お茶の水女子大学）53・54／国文科論集（佐賀龍谷短大）3／国文学（関西大学）55・56・57／国文学科報（跡見学園女子大学）8／国文学会誌（新潟大学）24／国文学研究（早稲田大学）70・71・72・73／国文学研究資料館紀要6／国文学研究資料館講演集1日本の説話／国文学研究資料館報14・15／国文学研究ノート（神戸大学）12／国文学攷（広島大学）84～87／国文学試論（大正大学大学院）6・7／国文学論考（都留文科大学）16／国文学論集（上智大学）14／国文学論集（山梨大学）18／国文研究（静岡女子大学）13／国文白百合11・12／国文鶴見15／国文目白19／国立国語研究所報告65・67／国立国語研究所年報31／古代研究（早稲田大学古代研究会）11・12／古典と民俗（古典と民俗の会）10・別巻2・11／ことば1／語文（大阪大学）37／語文（日本大学）50／語文論叢8／駒沢国文17／駒沢短大国文10／佐賀大国文8／相模国文7／相模女子大学紀要43／佐賀龍谷短期大学紀要26／札幌大学教養部女子短大紀要16・17／薩摩路（鹿児島大学）25／三十六人集攷3／紫苑（宇部短期大学）11／滋賀大国文18／実践国文学17・18／島大国文9／樹櫓12・13／就実語文（就実女子大）1／淑徳国文22／樟蔭国文学18／尚絅大学研究紀要3／女子大国文（京都女子大学）87・88／女子大文学（大阪女子大学）

31／叙説（奈良女子大学）11／上戸学園女子短期大学紀要10／書陵部紀要31／人文4／人文科学科紀要（東大教養学部）71／人文学科論集（鹿児島大学法文学部）15／人文研究（神奈川大学）74～77／人文研究（大阪市大文学部紀要）31巻9分冊／人文論究（関西学院大学人文学会）28巻4・29巻1～4・30巻1／人文論集（静岡大学）31／親和国文15／椙山国文学4／成城国文4／成城国文学論集12／清泉女子大学紀要27・28／説林（愛知県立大学）29／専修国文26・27／園田学園女子大学国文学科報1／高崎経済大学論集22巻3・4・23巻1・2／玉藻（フェリス女学院大学）16／千葉大学人文研究9／中央大学国文23／中世文学研究6／中世文芸論稿6／中哲文学会報（東大中哲文学会）5／調査研究報告（国文学研究資料館文献資料部）1／鶴見大学紀要（第一部国語国文学編）17／帝京大学文学部紀要国語国文学12／帝塚山学院大学日本文学研究11・12／天理図書館開館五十周年記念展目録'80／天理図書館善本写真集49・50／東京学芸大学紀要（第二部門・人文科学）31・32・目次索引／東京女子大学日本文学53・54／同志社国文学15・16／同朋21～33／同朋国文13／東北大学文学部研究年報29／東洋大学大学院紀要16／東横国文学12／徳島大学学芸紀要（人文科学）30／富山大学教育学部紀要28／都立大学方言学会会報89～91／名古屋平安文学研究会々報4・5／名古屋大学国語国文学46・47／名古屋大学文学部研究論集（文学）26／夏草534／並木の里19・20／新潟大学国文学会誌23／日本古典文学会々報78～83／日本語・日本文化（大阪外国語大学）9／日本女子大学紀要（文学部）29／日本文学研究（高知日本文学研究会）18／日本文学研究（大東文化大学）20／日本文学研究（梅光女学院大学）16／日本文学誌要（法政大学国文学会）23／日本文学ノート（宮城学院女子大学）15・16／日本文学論叢（法政大学大学院）1・8・9／日本文芸研究32／日本文芸論稿（東北大学）10／日本文芸論集（山梨英和短期大学）7／能楽研究（法政大学能楽研究所）5／能研究と評論9／俳句文学館紀要1／白路35巻4～36巻3／比較文学年誌16／ビブリア74／広島女子大学文学部紀要15／フェリス女学院大学紀要16／福岡女子短大紀要19・20／福島大学教育学部論集31号2／藤女子大学国文学雑誌26／文化（東北大学）43巻3・4・44巻1・2／文化と言語（札幌大学）13巻2・14巻1／文学研究（日本文学研究会）51・52／文学研究77／文学研究稿2／文学史研究（大阪市立大学）20／文学年誌（文学批評の会）5／文教国文学9／文経論叢（弘前大学人文学部）15巻／文芸研究（日本文芸研究会）93～95／文芸研究（明治大学）42・43／文芸と思想44・45／文芸と批評5巻4・5／文芸論叢（大谷大学）13・14／文芸論叢（文教大学女子短期大学部）16／文献ジャーナル19巻3～12・20巻1／文莫5／文林（松蔭女子学院大学）14／別府大学国語国文学21／北海学園大学学園論集36・37／方言研究年報続5／萬葉（奈良県立橿原図書館）10／萬葉（萬葉学会）103～106／美夫君志24／宮城教育大学国語国文11／武庫川国文17～19／明治大学人文科学研究所報20／明治大学教養論集・日本文学134／野州国文学25／山口国文3／山口女子大国文2／山口大学文学会誌30・31／山辺道24・25／横浜市立大学論叢31巻1／濫辞4／立命館文学410～423／論究日本文学（立命館大学）43／論集（福島大学教育学部）32－2／和洋国文研究15

に書き分けていたはずの「布――ふ」の使い分けまでもが崩れてしまった。が、同じように機能的な使い分けである「か――可」のようなものには、それほど変化が見られないようである。この相違が何故生じたものか、また、どの仮名が原本の影響をより強く受けているか、などを考えることは、定家の表記をより正しく解釈することにつながるのではないかと思う。今後の課題としたい。

受贈図書（昭和五十五年四月～五十六年三月）

国文学年鑑　昭和53年度　国文学研究資料館
図書寮叢刊　二八明題和歌集（下）　宮内庁書陵部
日本学之論　日本学之論発行の会
奄美与論島の音楽と習俗と言語　山田　実
天理図書館の善本稀書　反町茂雄
歌聖　宇都宮惟中
芸備口説き音頭集　上・中（国語国文学資料集）　広島女子大国語国文学研究室
青春の横光利一　三重県立上野高等学校
三重県南牟婁郡のことば　中部日本教育文化会
文学における風俗　梅光女学院大学
文学における自然　〃
松操和歌集　本文と研究　鹿児島県立短期大学地域研究所
紫式部日記の研究　木下　美
江戸時代文学誌　第一号　柳門舎
堤中納言物語　久邇宮本　久曽神昇
後拾遺和歌集　日野本　〃
我身にたどる姫君物語全註解　徳満澄雄
文字とことばをやさしくするために　白川初太郎
戯作研究　中野三敏
源氏物語評論　今井源衛
萬葉その後――犬養孝博士古稀記念論集――　〃
高山寺典籍文書の研究　迫野虔徳